

山林事業

江間忠グループは2003年の創業80周年を契機に本格的な山林事業に参入し、これまでに全国で約3,500haの山林を取得しています。

世界の木材需給は新興国における木材需要の増大で大きく変化し我が国の木材輸入が減少する一方、国内で戦後造林されたスギ、ヒノキの人工林が本格的な利用期を迎えていることにより、国産材有効活用の機運が大きく高まっています。

江間忠グループでは森林の適切な管理・施業により、森林の持つ国土の保全や水源の涵養等、多面的且つ公益的な機能を維持しつつ、新たな技術を積極的に導入し効率的な施業を行い、安定した出材を目指しています。木材の流通から集成材の製造、プレカットの加工等に至るまでの木材についてのグループネットワークを活かし、社有林の一層の拡充と、林産資源の高度利用にも挑戦して参ります。

江間忠の社有林

静岡県、愛知県、徳島県、和歌山県にスギ・ヒノキを中心とした総面積約3,500haの山林を所有しています。
(2018年6月現在)

静岡県浜松市天竜区の山林は世界的な森林認証機関であるFSC® (Forest Stewardship Council®, 森林管理協議会) から森林管理認証を取得しております。

